

住用を明るくし、元気をとどけようプロジェクト

～ミロコマチコさんとのコラボで地域に元気をとどける壁画制作(卒業制作)～



「地域に元気を」

ミロコマチコさん協力
住用小児童が壁画制作

「学校を訪れる人たちに元気を届けよう」―奄美市住用町の住用小学校(山美奈子校長、児童18人)では、5、6年生8人が正面玄関に設置する壁画制作に取り組んでいる。制作に協力する画家のミロコマチコさん(龍郷町芦徳在住)が14日に来校し、児童らに自由な発想で表現する楽しさを伝えた。

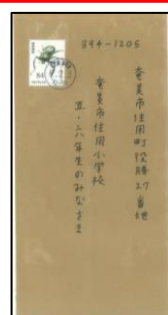
総合的な学習の一環。同校では島唄・島口の調査やリュウキュウアユの保護など、全校や学年ごとに異なるテーマで地域を元気にする活動を行っている。

5、6年生は1月から壁画制作をスタート。同町の奄美大島世界遺産センターでミロコマチコさんの絵画作品を見学し、壁画に盛り込むアイデアを話し合った。奄美の自然や学校の様子など、一人一人が描いた絵をつなぎ合わせて幅110センチ、長さ390センチの原画を作成した。

この日は水性ペンキを使い、壁画は3月中旬に完成予定。

つて色塗り。まずはミロコマチコさんが背景をグラデーションにする方法や、色を重ねてさまざまな表情を出す技法などを実演した。児童たちは原画の上から数種類の青色を使って背景を仕上げ、イラスト部分をカラフルに彩った。

ミロコマチコさんからの返事のお手紙



住用小学校 5、6年生のみなさんへ
お年賀 どうもありがとうございます。
世界遺産センターの参観の感想、とてもうれしかったです！
そして、みなさんの 町を想う気持ちを、大々かにしたいことになっていねいに表現されていて、とても月明に響きました。
大きな壁画のイメージ案を同封してくれ、ありがとうございます。
たくさんの方の中に、人月を動かすのも私たちも一緒に過かして、すばらしい絵です。
私は画家ではあるけれど、美術の先生ではないので指導することはおぼろしいかもしれません。
でもみなさんと一緒に、どう描けばいいか考えることがアドバイスすることはできます。
住用小学校へ会いに行きますね。
みなさんのお原画を見る目を楽しみにしています。

